



横須賀・三浦放射線技師会報

Feb.2025

No. 138

〈発行元〉横須賀・三浦放射線技師会 広報 〈発行元住所〉神奈川県横須賀市米が浜通 1-16



Photo by h.o

CONTENTS

巻頭言	2
令和6年度庶務記録	3
令和6年度第3回理事会議事録	4
令和6年度横三技師会総会案内、次第	5

学術・福利厚生活動報告	6
被ばく医療活動報告	7
ご意見 BOX のご案内	8
編集長のコーナー	8

巻頭言



タスクシフトについて

横須賀共済病院 中央放射線科 菅原保富

昨年から、当病院でも「働き方改革」の一環として、診療放射線技師に対するタスクシフトが積極的に進められてきました。この取り組みは、医療現場の効率化と患者ケアの質向上を目指しています。

背景には、医療従事者の不足や業務過多が多く、医療機関で問題となっている現状があります。この課題を解決するために、従来は医師が担当していた業務の一部を診療放射線技師に移譲する動きが見られます。これにより、医師はより専門的な業務に集中でき、診療放射線技師の専門性も向上します。

内容としては、診療放射線技師が造影剤注入時の静脈路確保や抜針、血管造影時の医師の補助、撮影オーダーの代理や読影支援などを行うようになり、検査の待ち時間が短縮され、医師や看護師の負担が軽減されるようになります。

これを実現するために、日本放射線技師会は診療放射線技師の教育とトレーニングを強化するために、eラーニングによる700分の講義と確認試験、385分の実技研修などを行い、専門的な知識と技術を習得するためのプログラムを用意し、継続的なスキルアップを図っています。

また、この研修を受けた後、病院に戻って来て、新人看護師が針の穿刺の講習と同じような実技講習を受けることで、実際の現場で作業ができるようになる技術を習得しています。練習を重ねる中で、かつては放射線技師が針の穿刺を行うことは考えられませんでした。が、今の時代にはそれが当たり前になっていると感じました。

今後もタスクシフトはさらに進展し、診療放射線技師の役割が拡大することで新たな業務が増え、負担が増えることが予想されます。しかしながら、医療現場全体の効率化が図られ、患者ケアの質が一層向上するでしょう。タスクシフトは、医療従事者間の協力と連携を強化し、より良い医療サービスを提供するための重要な取り組みです。今後もこの動きを継続し、より多くの成果を上げていきたいと思っています。

2024 年度庶務記録

- 2024 年 07 月 25 日 ・ 令和 6 年度第 2 回理事会開催
・ 阿部澄絵（あべすみえ）氏、塚原菜々美（つかはらななみ）氏の入会原簿を受理
- 2024 年 08 月 03 日 ・ 横浜南部地区令和 6 年度第 1 回勉強会・納涼会に松村会長が参加
- 2024 年 08 月 05 日 ・ 長島誠（ながしままこと）氏の退会を受理
- 2024 年 08 月 10 日 ・ 第 126 回横須賀三浦放射線技師会研究会を開催
・ 令和 6 年度横須賀三浦放射線技師会納涼会を開催
- 2024 年 08 月 15 日 ・ 会員岸上憲二氏の訃報を受理
- 2024 年 08 月 20 日 ・ 会員岸上憲二氏ご遺族様に香典を郵送
- 2024 年 08 月 30 日 ・ 令和 6 年度 NAS チーム納涼会を開催
- 2024 年 09 月 10 日 ・ 横須賀市危機管理課宛に第 17 回スクリーニング講習会講師派遣についての依頼状を発行
- 2024 年 09 月 13 日 ・ GE ヘルスケアファーマ株式会社入会
- 2024 年 10 月 08 日 ・ 長塚麻央（ながつかまお）氏、蔵谷優伎（くらたにゆうき）氏、市川秀也（いちかわひでや）氏の退会を受理
- 2024 年 10 月 10 日 ・ 令和 6 年度第 3 回三役会開催
- 2024 年 10 月 18 日 ・ 相ヶ瀬あゆ子氏御尊父の訃報を受理
- 2024 年 10 月 24 日 ・ 令和 6 年度第 3 回理事会開催
- 2024 年 11 月 30 日 ・ 第 17 回スクリーニング講習会を開催
- 2024 年 12 月 02 日 ・ 太田守（おおたまもる）氏(南部地区技師会)の訃報を受理。会員へメール通知
- 2024 年 12 月 05 日 ・ 太田守（おおたまもる）氏(南部地区技師会)の葬儀に会長名で弔電を打電
- 2024 年 12 月 07 日 ・ ボーリング大会&忘年会を開催
- 2024 年 12 月 14 日 ・ 横浜南部地区令和 6 年度第 2 回勉強会・忘年会に松村会長、菅原副会長が参加
- 2025 年 01 月 11 日 ・ 令和 7 年横須賀市医師会賀詞交歓会に松村会長が出席
- 2025 年 01 月 16 日 ・ 令和 6 年度第 4 回三役会開催
- 2025 年 01 月 24 日 ・ 令和 7 年神奈川県放射線技師会新春情報交換会に松村会長が出席
・ 佐藤将人（さとうまさと）氏（市民）の退会を受理
- 2025 年 01 月 30 日 ・ 令和 6 年度第 4 回理事会開催

会員数 135 名 賛助会員 17 社

令和6度第3回理事会議事録

*日時 10月24日(木) 18:30より

*場所 ヴェルクよこすか 第3研修室

*議題

1) 松村会長挨拶

2) 各部経過報告

1. 庶務 2. 会計 3. 学術 4. 福利厚生
 5. 広報報告 6. 緊急被ばく医療 7. 組織委員
 8. YMBIT
- ・ホームページのセキュリティを高め、信頼性をアップする提案について
現在は無料SSLを使用、来年度有料SSLにアップグレードする。
 - ・ホームページ各部門メールアドレスの掲載について

庶務・入会案内・YMBITを掲載、他部門は削除、

会計は振込先も削除する。

- ・ホームページリニューアル

リニューアル後、庶務より会員へ通知。

- ・ホームページのスマートフォン、タブレット対応サイトをアップデート
是非ご活用下さい。

3) その他

- ・放射線技師養成施設学生への対応について
学生が当会の研究会・講習会に参加できるよう、研究会・講習会の案内文に学生も参加可能な一文を記載する。
- ・今後の賀詞交歓会について
例年、食事を発注していた店舗が閉店、食事調達の困難、ゴミ処理の問題が発生、参加人数の減少も合わせ議論した結果、今年度より賀詞交歓会を廃止した。
- ・今後の技師会の運営について
会員に「当技師会でやって欲しい事」についてアンケート調査を行う。

会員 各位

令和6年度総会開催のご案内

横須賀三浦放射線技師会事務局

令和6年度本会総会を下記の通り開催致します。

何卒ご出席いただきますようご案内申し上げます。

尚、本総会終了後 懇親会を行います。

こちらにも多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日時 令和7年3月15日(土) 15:00～

会場 横須賀共済病院5F講堂

懇親会 17:00～

会場 セントラルホテル 5F ルビー

懇親会会費 6000円

※新卒および技師歴2年目の方は半額 3000円

準備の都合上、3月5日(水)までに本会事務局まで出欠をお知らせください。

懇親会出席申し込みされた方は、当日欠席されても懇親会会費は徴収させていただきますので、悪しからずご了承ください。

当日、来年度分の会費納入も受付致します。

横須賀三浦放射線技師会事務局

〒238-8588

横須賀市小矢部2-23-1

衣笠病院 放射線科技術内

TEL 046-852-1182

Mail ymart001@ymart.jp

庶務：村雲俊広、菅原保富、塚野遼、浅井博之

会計：堀田伸一郎、前川加奈、菅原正樹

令和6年度横須賀三浦放射線技師会総会次第

一、開会の言葉

一、会長挨拶

一、会員表彰

一、来賓祝辞

一、議長団選出

一、議 事

① 令和6年度事業報告 庶務活動報告

学術活動報告

福利厚生活動報告

広報活動報告

緊急被ばく医療活動報告

組織委員報告

YMBIT 活動報告

② 令和6年度会計決算報告 令和6年度一般会計決算報告

③ 令和6年度会計監査報告

④ 令和7年度事業計画案

⑤ 令和7年度会計予算案 令和7年度一般会計予算案

⑥ その他

一、議長団解任

一、閉会の言葉

学術報告

【横須賀三浦放射線技師会 第 126 回研究会 開催報告】

2024 年 8 月 10 日(土)、約 5 年ぶりに第 126 回横須賀三浦放射線技師会研究会が、ヴェルクよこすか 3 階第 3 研修室にて開催されました(15:00～17:30)。今回の研究会はお盆の直前になりましたが、40 名の参加者が集まり、賛助会員による情報提供や会員発表、特別発表などたくさんの発表が行われました。賛助会員からは最新機器やまたその活用法に関する有益な情報が提供されました。会員発表では若手やベテランの技師まで、それぞれの施設での取り組みが共有され、大変参考になる内容となりました。また、特別発表では 2027 年 4 月に横須賀において開学予定の中央医療学園理事長による講演が行われ、参加者から多くの関心を集めました。今回の研究会は、技術の向上と情報共有の場として、大変有意義なものになりました。

内容は以下の通りです。

- ・シーメンスヘルスケアの AI 導入事例について シーメンスヘルスケア(株) 枝 由美子氏
- ・一般撮影におけるコニカミノルタの動態撮影 ～機器概要や臨床活用例～
コニカミノルタジャパン(株) 伊藤 亮輔氏
- ・キャノン MRI 最新トピックスのご紹介 キャノンメディカルシステムズ(株) 林 世生氏
- ・医療被ばく線量管理システムontiのご紹介 PDR ファーマ(株) 小田 純氏
- ・Log File を用いた独立検証 横須賀共済病院 下内 欣亮氏
- ・当院における STAT 画像報告の現状と取り組み 横須賀市立市民病院 百合 智美氏
- ・放射線科のサイバーセキュリティ 三浦市立病院 齋藤 正樹氏
- ・YRP への大学進出について 学校法人中央医療学園 理事長 森重 美三男氏

福利厚生報告 (ボウリング大会・忘年会)

2024 年 12 月 7 日(土)にボウリング大会をボウリング王国スポーツ横須賀店で、また忘年会を横須賀中央駅近くの鳥真で開催いたしました。

ボウリング大会には会員 19 名、賛助会員 1 名の計 20 名が参加し、忘年会には会員 26 名、賛助会員 2 名、中央医療学園から 2 名の計 30 名がご参加くださいました。

ボウリング大会は若手を中心にスコア争いがあった一方、忘年会の景品はベテラン勢に次々と豪華景品が当たっていく展開となり、どちらもとても盛り上がっていました。

次回は、2025 年 3 月 15 日(土)の総会後に懇親会を予定しております。皆様の参加をお待ちしております。



被ばく医療報告(スクリーニング講習会)

11月30日(土)、横須賀共済病院5階講堂にて、第17回スクリーニング講習会を開催しました。当日の参加者は26名でした。

前半は講義を行い、スクリーニング初心者向けの講義、横須賀市での原子力防災体制の現状、甲状腺簡易測定研修についてなど、それぞれスクリーニングレベルに沿った幅広い内容でした。横須賀市の原子力災害時での現状の対応等について知ることができ参考になりました。

後半は、サーベイメータの使用法、セグメント法、タイベックスーツの着用等実践を中心に行いました。

今回は、講習会についてのアンケートを取らせていただきました。

その中で、会については概ね好評をいただき、また継続して行ってほしいとの意見もいただきました。

災害時に対応が行えるよう、今後も継続してスクリーニング講習会を開催していきたいと思います。

最後に、講習会開催にご協力いただきました関係者の皆様、講師の皆様ありがとうございました。



被ばく医療理事
横須賀市健康管理支援課
井上 晴行

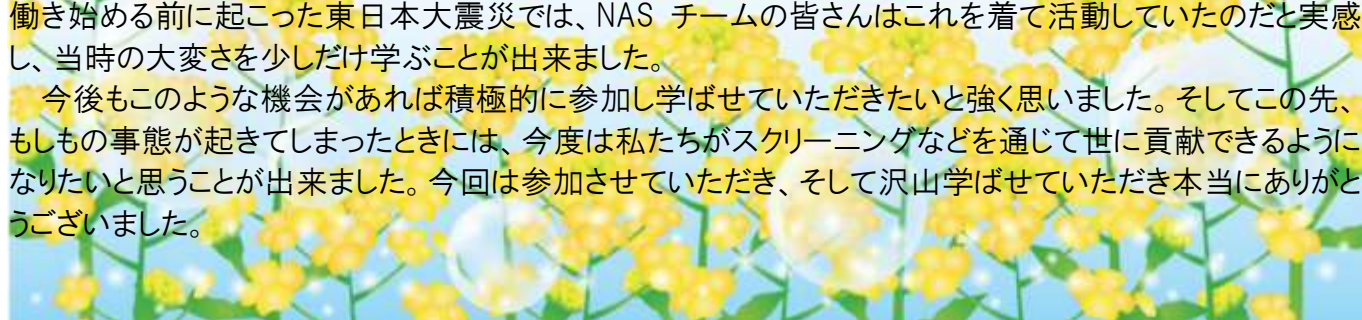
「第17回放射線災害時のスクリーニング作業の実践について」の講習会に参加して・・・

横須賀共済病院 西野笑弥

令和6年11月30日に横須賀共済病院5階講堂で開催された「第17回放射線災害時のスクリーニング作業の実践について」の講習会を受けさせていただき、沢山の学びと体験を得ることが出来ました。前半の講演では、我々の分野におけるスクリーニングとは何かという基礎から、実際の事例、そして今現在の活動についてなど、とても興味深い話を聞かせて頂きました。まず、横須賀三浦地域は原子力艦船や核燃料加工施設といった事故の危険が考えられる地域であると今回初めて知り、とても驚きました。生まれたときから住んでいる土地ですが、核燃料加工施設がそんな身近にあることを知りませんでした。このように私たちの知らないところで起こるかもしれない危険があり、それに対しての管理体制がしっかりと敷かれていることを知ることができたとても勉強になる講演でした。

後半では実演を含めた体験形式の講演で、サーベイメータの使い方からスクリーニングの実際の行い方などを教えていただきました。実際に GM 式、シンチレーション式などのサーベイメータを触らせていただき、二人一組でスクリーニングの体験をさせていただきました。さらにはタイベックスーツを実際に着させていただいて、実際の着心地から脱ぎ方まで実際に着ないとわからないことを沢山知ることが出来ました。タイベックスーツはかなり暑くとても着心地がよいものではありませんでした。私たちがまだ放射線の分野で働き始める前に起こった東日本大震災では、NAS チームの皆さんはこれを着て活動していたのだと実感し、当時の大変さを少しだけ学ぶことが出来ました。

今後もこのような機会があれば積極的に参加し学ばせていただきたいと思います。そしてこの先、もしもの事態が起きてしまったときには、今度は私たちがスクリーニングなどを通じて世に貢献できるようになりたいと思うことが出来ました。今回は参加させていただき、そして沢山学ばせていただき本当にありがとうございました。



本会会員・賛助会員の皆様が求める活動とは何か、率直なご意見・ご要望をお聞かせください。

目的: 会員・賛助会員が求める技師会でありたい。活気あふれる技師会でありたい。現状の問題点を改善するための意見収集です。

回答方法: 以下のリンク・QR コードから WEB 上で回答できます。
会員・賛助会員別、施設名(任意)、年代、性別、自由記述の意見の設問(5問)です。

個人情報の収集は致しませんので、匿名にてご回答ください(敢えて御記名いただいてもかまいません)。ご協力、心より感謝申し上げます。皆様のご意見をお待ちしております。

<https://forms.gle/ZU5fHgJ6YiNrtTCt5>



編集長のコーナー(隣の撮影条件)

今年度から始まった企画の第 2 弾になります。

今回のテーマは小児の生殖腺防護についてです。

医療機器の進歩による被曝線量の低下、防護による疾患の見逃しや再撮影率の増加を背景に昨今 JART などより生殖腺の防護シールドの廃止にむけた活動が見られるようになりました。

そこで今回は横須三浦放射線技師会に所属する 6 病院にアンケートを実施し、結果をまとめました。

はじめに防護シールドの使用率を右図に示します。

・使用……横浜南共済病院、衣笠病院

・未使用……横須賀共済病院、うわまち病院、三浦市立病院

またその他と答えた横須賀市民病院は、明確な取り決めは無く各自の技師の判断に任せているとの回答でした。

次に、防護をしていないと答えた 3 病院に追加で

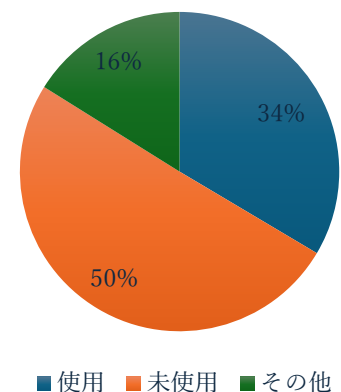
質問 1. 廃止前の関係各科との相談の有無

質問 2. 廃止後の医者・家族からの防護依頼の有無

を質問しました。結果は 3 病院とも同じで質問 1. の相談については「していない」、質問 2. の防護依頼については「なかった」と回答がありました。

今回の結果を踏まえて個人的な感想として、生殖腺の防護については医者・家族からの関心は思っているより低く、放射線技師に一任されているケースが多いのかなと感じました。だからこそ我々放射線技師が放射線被曝の知識を誰よりも勉強し臨床に活かして行かないといけないのかもしれないかもしれませんね。

生殖腺防護シールドの使用率



広報誌 138 号編集長 横須賀共済病院 大嶋 光

N0.138 Feb.2025 横須賀三浦放射線技師会会報

2025 年 2 月 発行 編集/発行/印刷/製本 広報部

広報担当 齋藤 (三浦市立病院)

廣寄 (横浜南共済病院)

大嶋 (横須賀共済病院)